

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	立川市環境審議会
開催日時	平成30年11月5日（月曜日）10時00分～12時00分
開催場所	立川市役所本庁舎2階208・209会議室
次第	1. 立川市第2次環境基本計画の中間見直しについて 2. たちかわし環境ブック2018について
配布資料	（事前配布） 資料1 環境に関するアンケート（市民用）（案） 資料2 環境に関するアンケート（事業者用）（案） 資料3 環境に関するアンケート第2回環境審議会からの修正点 資料4 たちかわし環境ブック2018（案） （当日配布） 資料5 環境に関するアンケート・たちかわし環境ブック2018発行スケジュール
出席者	〔委員〕 会長 原 剛、副会長 甲野 毅、和田 信行、加藤 禮子、八木 和夫、齋藤 孚彦、村田 佳壽子、山下 英俊、中村 裕、猿渡 厚史、田中 良明（敬称略） 〔事務局〕 大野 茂（環境下水道部長）、五十嵐 智樹（環境対策課長）、八谷 俊太郎（環境推進係長）、柚木 正史（環境指導係長）、桜井 優（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	1. 立川市第2次環境基本計画中間見直しについて ・前回の意見をもとに修正を行ったアンケート（市民用・事業者用）について意見をいただいた。 2. たちかわし環境ブック2018（案）について ・いただいた意見を参考にして、加筆修正を進めていく。
担当	環境下水道部環境対策課環境推進係 電話 042-528-4341

第 11 期 第 3 回立川市環境審議会 会議録

開催日時 平成 30 年 11 月 5 日（月曜日） 午前 10 時 00 分～12 時 00 分

開催場所 立川市役所本庁舎 208・209 会議室

出席者〔委員〕会長 原 剛、副会長 甲野 毅、和田 信行、加藤 禮子、八木 和夫、齋藤 孚彦、村田 佳壽子、山下 英俊、中村 裕、猿渡 厚史、田中 良明（敬称略）

〔事務局〕大野 茂（環境下水道部長）、五十嵐 智樹（環境対策課長）、八谷 俊太郎（環境推進係長）、柚木 正史（環境指導係長）、桜井 優（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）

1. 立川市第 2 次環境基本計画の中間見直しについて

- ・事務局より中間見直しにあたり実施するアンケート（案）について説明を行った後、各委員より意見をいただいた。

○委員意見

市民用アンケートについて

- ・災害対策と環境対策は密接に関連している。気候変動による災害が多い現状から防災、災害に係る設問を入れるべきである。
- ・環境は様々な分野と関係があり、範囲の限定が必要である。立川市として環境の定義が必要である。
- ・設問の中に、住民の考えを聞くことと市の施策に対する考えを聞くこととがわかりにくいものがあり、視点の統一が必要である。
- ・施策につながる仮説をたてて、設問を考える必要がある。
- ・「環境の分野で、立川市に重点的に取り組んで欲しいことは何ですか」という設問の選択肢に農業や地産地消のことを入れるべきである。

事業者用アンケートについて

- ・設問の順番を、広い視点から環境に関する考え方を聞く市民用アンケートと同じに変えたほうが良い。
- ・設問の前に見出しを設けると良い箇所がある。
- ・企業の CSR は範囲が広く、環境の視点に限定できないので、項目に入れなくて良い。

2. たちかわし環境ブック 2018（案）について

- ・事務局より資料4をもとに説明を行った後、各委員より意見をいただいた。

○委員意見

- ・鉄やアルミのリサイクルが不十分。なべやフライパンの最終的なリサイクル先は？
- ・リサイクルが進み、日の出町にある最終処分場へのごみの埋め立てがゼロになっているが、あまり知られていない。アピールする必要がある。
- ・市の公共施設の二酸化炭素排出量が、平成29年度は前年度より増加している。エネルギー原単位の低い電気事業者を選ぶことを考える必要がある。
- ・特集の温暖化対策のなかで、身近な立川での影響について記載があるとよい。
- ・わかりやすい文言を使用して、特集は記述してほしい。

以上